

1 平成 30 年度の取組

(1) 業務連絡会の実施状況

ア 実施状況について

開催日時 場所	内容	参加状況
平成 31 年 3 月 2 日 (土) 18:30~20:30 小平市福祉会館	○講演「小児在宅医療の実際」 かみざきキッズクリニック 院長 大谷 俊樹医師 ○グループワーク 「小児訪問看護が難しいと感じること」	22 名 16 事業所

イ グループワーク「小児の訪問看護が難しいと感じること」で出された意見

- ・小児訪問看護の内容を知らないため、難しいというイメージがある。
- ・家族ぐるみのケア、長期的なケアが必要で責任が重く感じられる。
- ・小児の患者のみだと利用者獲得が難しい。
- ・小児の往診医と連携できるような体制があれば良い。
- ・病院との連携、緊急時の対応が難しい。

ウ 実施後アンケート結果

設 問	回 答
参加者の小児看護の経験の有無	あり 7 名 / なし 13 名 / 無回答 2 名
参加者の小児の訪問看護の経験	あり 15 名 / なし 4 名 / 無回答 3 名
講演会は役にたったか	役に立った 90.0%
今後小児の訪問看護をしてみたいと思ったか	思う 62.5%
訪問の同行をする場合、 どんなケアを体験したいか	人工呼吸器管理、吸引・排痰、 入浴介助、ポジショニング等

(2) 同行訪問を主とした実践的な現場体験研修

ア 実施状況について

参加事業所	3
実人員 (職種内訳)	5 (看護師 4 PT 1)
訪問延べ日数	7
訪問延べ件数	28

イ 実施後の感想

同行訪問参加者から、以下の感想が得られた（感想文より抜粋し掲載）。

- ・コミュニケーションのとり方や環境整備の仕方、在宅における呼吸器の取扱い、気切のお子さんや重心児の入浴方法、排痰ケア等、具体的な訪問看護の実践を学ぶことができた。
- ・そのお子さんに合わせた入浴介助方法を知ることができた。
- ・医療的ケア児の訪問も高齢者の訪問看護も利用者様のご自宅で「安心して安楽な生活」を支援する基本は変わりがないことがわかった。
- ・ご家族それぞれにその子に対する思いや考え方があり、それを尊重しつつ支援していくことの重要性、難しさも感じました。
- ・どの子どもともかわいくて、私も是非医療的ケア児を訪問したいと思った。
- ・やや緊張していた表情が、入浴しリラックスした表情になったのを見られたのが本当に嬉しく感じました。

(3) 事業所運営相談の実施状況

件数	時期	職種	内容
2件	平成30年12月 平成31年2月	訪問看護師	○同行訪問依頼 ○療育を学べる研修について

(4) 規参入事業者の掘り起こし

業務連絡会、事業所運営相談、同行訪問等実施時に働きかけを行った。

(5) ホームページによる普及啓発

同行訪問等の研修に参加した看護師の感想文や業務連絡会についてのお知らせを「くれよん」のホームページに随時、掲載した。